様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　８年　６月22日

茨城県知事　大井川 和彦 殿



提出者
住　所　茨城県ひたちなか市大字足崎字西原1380-1
氏　名　株式会社レゾナック　山崎事業所(勝田)
事業所長　村井　康裕
電話番号　０２９－２８５－１１０１（代）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１２条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社レゾナック　山崎事業所(勝田)
事業場の所在地	茨城県ひたちなか市大字足崎字西原1380-1
計画期間	令和 ８年 ４月 １日 ～令和 ９年 ３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	化学工業（16） 窯業・土石製品製造業（21）
②事業の規模	前年度製造品出荷額　２５，２１８，０００，０００円
③従業員数	２７６名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	**別紙参照（添付資料１）**

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

事業所長　　（すべてのことに対する責任者）
↓
マネジメントシステム管理責任者（環境に関する責任者）環境安全管理部部長
↓
ゼロエミッション委員会　（廃棄物に係わる計画立案、問題審議）
委員長：電子材料製造部部長
委員：各部門課長、主任等

環境安全管理部（廃棄物処理業者への委託業務）
部長
係長

各部門（廃棄物置場管理、低減活動）
責任者：部長、課長、主任

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①　現状

【前年度（令和　７年度）実績】

産業廃棄物の種類	（合計）	※廃棄物の種類別詳細は『添付資料２』による
排　　出　　量	８７１．２ｔ	

（これまでに実施した取組）
・分別強化によるリサイクル化の推進
・歩留り向上による廃棄物発生量の削減（継続）
・鉱さい、木くず(木パレット)等の利材化（継続）
・排水切り分け、排水経路変更による汚泥(排水)発生量の低減

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	（合計）	※廃棄物の種類別詳細は『添付資料２』による
排　　出　　量	１，０００．０ｔ	

（今後実施する予定の取組）
・分別強化によるリサイクル化の推進
・歩留り向上による廃棄物削減（継続）
・鉱さい、木くず(木パレット)の利材化継続
・廃プラスチック類(ポリドラム、ポリコンテナ)の利材化継続
※新工場の稼働に伴い、廃棄物が大幅に増加する可能性あり

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・廃プラスチック、汚泥、廃酸、廃アルカリ、金属くず、廃油、ガラス・陶磁器くず、鉱さい、木屑はそれぞれに分別し、保管。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・現在の活動の継続
・一部のポリドラム、ポリ容器に入った廃液は、荷姿ごと回収するのでは無く、廃液のみをローリーで回収し、荷姿のドラム、容器と廃液を分別して回収。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>0　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>0　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>0　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>0　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・該当なし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>（合計）</td><td rowspan="6">※廃棄物の種類別
詳細は『添付資料３』
による</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>８７１．２ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>８４４．４ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>１．４ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>２５．３ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・優良認定処理業者への処理委託の促進</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">② 計画</td><td colspan="3">【目標（令和 ８年度計画）】</td></tr>
<tr><td colspan="3">
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>（合計）</td><td rowspan="6">※廃棄物の種類別
詳細は『添付資料３』
による</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>１，０００．０ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>９６８．０ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>２．０ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>３０．０ｔ</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
・優良認定処理業者への処理委託への促進 （継続）
</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

＜添付資料1＞

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

④産業廃棄物の一連の委託処理の工程	廃プラスチック類	ポリ容器・ポリドラム	焼却・溶解し、土木資材(路盤材、敷き資材)としてリサイクル
			破砕してRPF(固形燃料)化してリサイクル
		可燃ごみ	焼却して、熱回収
	汚　泥	脱水汚泥・底払い汚泥	汚泥分離、脱水した後、セメント材料としてリサイクル
	廃　酸	CU廃液	中和・脱水した後、セメント材料としてリサイクル
	廃アルカリ	CMP希釈廃液	中和・脱水した後、セメント材料としてリサイクル
	金属屑	設備、OA機器等	破砕・切断し、再生資源としてリサイクル
	ガラス・陶磁器屑	焼成品くず	破砕し、路盤材としてリサイクル
	廃　油	廃タール	焼却して、熱回収
		溶剤・潤滑油	焼却して、熱回収
	鉱さい	カーボン粉	加炭材等としてリサイクル　(有価売却)
	木　屑	木製パレット他	破砕し、チップ(燃料用、製紙用、ボード用)としてリサイクル
	がれき類	スレート	隔離埋立処分

＜添付資料2＞

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃酸	廃アルカリ	金属屑	ガラス・陶磁器屑	廃油	鉱さい	木屑	がれき類	合計
	全処理委託量	170.9 t	211.9 t	327.0 t	44.2 t	21.3 t	2.4 t	0.0 t	0.0 t	93.5 t	0.0 t	871.2 t
②計画	【今年度(令和8年度)目標】											
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃酸	廃アルカリ	金属屑	ガラス・陶磁器屑	廃油	鉱さい	木屑	がれき類	合計
	全処理委託量	200.0 t	290.0 t	350.0 t	70.0 t	30.0 t	5.0 t	5.0 t	0.0 t	50.0 t	0.0 t	1,000.0 t

＜添付資料3＞

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和7年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃酸	廃アルカリ	金属屑	ガラス・陶磁器屑	廃油	木屑	がれき類	合計
全処理委託量	170.9 t	211.9 t	327.0 t	44.2 t	21.3 t	2.4 t	0.0 t	93.5 t	0.0 t	871.2 t
優良認定処理業者への処理委託量	145.0 t	211.9 t	327.0 t	44.2 t	21.3 t	1.6 t	0.0 t	93.5 t	0.0 t	844.5 t
再生利用業者への処理委託量	0.6 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.8 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	1.4 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	25.3 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	25.3 t

②計画

【今年度(令和8年度)目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃酸	廃アルカリ	金属屑	ガラス・陶磁器屑	廃油	木屑	がれき類	合計
全処理委託量	200.0 t	290.0 t	350.0 t	70.0 t	30.0 t	5.0 t	5.0 t	50.0 t	0.0 t	1,000.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	170.0 t	290.0 t	350.0 t	70.0 t	30.0 t	3.0 t	5.0 t	50.0 t	0.0 t	968.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	2.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	2.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	30.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	30.0 t